



ロータリーの社会奉仕部門は、言うならば世の中の人々の目に映る部門だと思えます。ロータリーの親睦と奉仕の理想を掲げて、社会に乗り出し、人々の目に見えるような形で遂行されます。また行政と一緒に活動することが出来れば、非常に影響や反響は大きいと思えますし、ロータリーの活動を知っていただくのに有意義だと思えます。

以前、私がクラブ会長をした当時、青少年の不良化防止というのが大きな社会問題でした。私の会長年度をそれに結び付けて、青少年の不良化防止の標語をうちわに印刷をして「愛のうちわ配り」と名づけて駅頭等で配布を行いました。非常に反響が大きく、新聞にもTVにも取り上げられまして、ロータリーの友誌等にも大きく掲載されました。クラブで青少年委員長をさせていただいた時には、和歌山市内の全小・中学校に呼びかけて標語を募集しました。教育委員会にお願いに行ったところ、快い協力のお返事をいただき、報道関係にも依頼しました。何千もの標語が集まり、優秀選考されたものを下敷きに印刷して配布しましたところ、これもまた大反響でした。一生懸命考えて案を練り、皆さんに呼びかけて協力していただき進めていけば、非常に効果のある活動ができると思えます。どうか皆さんも素晴らしい発案をしていただき、それに向かって協力を仰ぎながら活動していただければと思います。

ロータリーの会員になられて、ただ例会に出席し普通のロータリー活動だけをされていたのでは感動が少ないです。感動は奉仕活動から生まれてくるものと思えます。感動のない人生は、調味料の効いていない料理と同じだと考えています。奉仕活動に一生懸命に取り組めば反響もあり、皆さんにも喜んでいただき、それがまた自分の喜びにもなると思えます。社会奉仕と国際奉仕の境目がはっきりしないところもあるかと思えますが、こだわらないで大らかな気持ちで奉仕活動に参加していただきたいと思えます。奉仕すること自体に喜びがあり、意味があると思えます。

私はお寺の住職でして、小学校を卒業してすぐの時に小僧になって僧侶としての歩みを始めました。その時に私の師匠が、「人間には使命というものがある。一人ひとりにそれぞれの使命がある。それは自分に与えられた能力によって差ができてくる。どのようにして社会のために役に立てば良いか、自分で考えて使命を果たしていくべきである。一人の人間が生きていくためには、さんさんと降り注ぐ太陽と水と空気、そして世の中の多くの人々の働きによって自分の生活は支えられている。一人前になった時には、自分の能力の限りを尽くして社会に奉仕して生きていかなければならない。」と指導して下さいました。

最近はいろんな事件、特に青少年に関わる事件が起こっています。もし若き日に適切に指導する人がいれば、悪い方へは行かなかったのではと思う若者が多くいます。私は小学生時代に教壇の上から先生が教えて下さったこと、師匠が私に繰り返し繰り返し説いてきてくれたこと、両親が幼いときにかけてくれた導きが心の支えとなってきました。

次年度はぜひともクラブのコンセンサスのもと、よく練られた社会奉仕活動を展開していただいて、ロータリーに入って良かったという感動を共にできるよう、ご活躍いただきたいと思えます。

ロータリークラブの社会奉仕活動は、時には「ロータリーの心臓の鼓動」と呼ばれる事があります。又次期R I会長、Jウィルキンソン氏も、社会奉仕は、「ロータリーの心」と表現されています。ロータリーの心を奉仕の精神を具体化するのが、社会奉仕部門の任務であります。

一般的に「ロータリーとは何か？」という質問をよく受けます。難しい精神的な方向を答えてもなかなか理解して頂けない。やはり具体的な奉仕活動の状況を伝える事が近道です。地域ではロータリークラブの評価はロータリーの社会奉仕活動による事が大です。

近年ロータリアンの減少が憂いられています。ロータリーが効果的な奉仕活動を行い、それが地域で評価を受けられる事が出来れば、ロータリーへの関心が高まり志ある人の入会につながる事も期待されます。

皆さんも次期社会奉仕委員長に決定され、種々プランを練られて居られるやに思います。さりとして任期は一年そして財政等の問題等もあり、なかなか新しいプロジェクトや画期的な行いは大きなエネルギーが必要です。今迄クラブで継続的に実施して来た事業を見直して一步前進した肌面こまかい奉仕を行う事も大切かと思えます。そして各クラブの会員が「多く参加して」「汗を流す」事に注力される事も大きな任務であろうかと思えます。

クラブ内の会員が共に汗を流して奉仕活動をする事によって会員間の絆が深まる事も貴重な事です。2640地区の社会奉仕委員会は各クラブの皆様と共に考え行動し、協力致し度いと考えて居ります。

各クラブ社会奉仕委員長の方々の御健闘をお祈りします。

【活動計画】

① 地区社会奉仕委員会の主たる責務

- (1) ロータリーの社会奉仕関係の情報の提供
- (2) R I 及び地区からの情報の伝達
- (3) 成功を収めたクラブの社会奉仕活動の紹介
- (4) 各クラブ社会奉仕委員長への職務遂行への手助け
- (5) 他委員会との協調（環境保全委員会、新世代委員会）

② 地区社会奉仕委員会が推奨する奉仕プロジェクト

- (1) 識字率向上運動
2006～07年度推奨項目として注力致し、各クラブより多大の協賛を賜り、感謝して居ります。
- (2) エイズ問題への取り組み
漸増しつつある本件に、関心を高める活動を進めたい。

③ 其の他

- (1) 献血運動
- (2) ダメゼット運動
各クラブの実績に基き活動をお願いしたい。

各クラブにおいて環境保全委員会のないクラブが結構あるようで、社会奉仕委員会の中に包括されているところが多いようにお聞きしています。環境保全委員会は初め、「ロータリー 100 年の森林」を主にして活動してきた委員会ですので、まず近況の報告をさせていただきます。あるクラブから「ロータリーの森林に行ったところ、植えた木がなくなっていたが、どうなっているんですか？」というお尋ねがありました。調べると植樹した 2424 本中、23 本が枯死しているということで、2007 年 4 月中にその補植する準備をしています。

【活動計画】

- ① 引き続き「ロータリー 100 年の森林」の造林を（財）和歌山県緑化推進会和協働して推進する。
- ② 3月21日もしくは20日の「春分の日」（自然をたたえ、生物をいつくしむ）から5月4日の「みどりの日」（自然に親しむとともに、その恩恵に感謝し豊かな心をはぐくむ）の期間を、「ロータリー 100 年の森林」を訪ねる期間とする。
- ③ ②の期間中に、各ロータリアンは自宅・事業所・所有地などに1本以上の植樹をされることをお勧めする。
- ④ 年度中を通じて二酸化炭素排出の多い燃料によるエネルギーの節約に努め、バイオ・風・太陽光などのエネルギーを日常生活に取り入れる学習を行い、可能なことから実行されることをお勧めする。
- ⑤ 2006～07 年度に実施させていただきました「各クラブの環境保全活動に関するアンケート」は、他の事項とともに次年度は社会奉仕委員会で行われることとなりました。
- ⑥ その他、各クラブの地域やロータリアンの身边で、実行可能な環境保全地球温暖化防止にアタックしましょう。

皆様方のお手元にクラブ社会奉仕活動のアンケート用紙を入れさせていただいております。各クラブの実施されました特色ある社会奉仕活動ということで、過去の計画的なプログラムや今後、行いたいという活動を書きいただきたいと思います。献血運動・ダメゼッタイ運動等と環境保全の問題も含めて、書きいただきたいと思います。良いことは大いに称賛し、皆さんクラブで参考にしていただいて良い方向に向かっていけばと考えます。6月20日までにご提出よろしくお願ひします。

質疑・応答

- : 識字率のプロジェクトについて、なぜアフガニスタンで実施されるのか？またどのようにして教育をするのか？
 - : ロータリーとしてのエイズの問題への取り組みとは？
 - : 識字率向上運動のための書き損じハガキ・未使用テレカの寄付・ポケットコインの募集は継続して実施しますか？
 - : ポケットコインはどこ国のコインでもよろしいですか？
 - : ロータリーの奉仕活動は、「ただお金を出せば良い」という風潮があるのではないのでしょうか？
 - : エイズ問題のプログラムについて、過去から具体的に進んできていないように思います。
 - : 「ロータリーの100年の森林」を訪れた時のために、歩道や休憩施設等の設備面を整えてはどうか？
- 他

